

里山の伐採による防災及び景観改善事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：大崎上島町

取組のきっかけ・経緯

・平成30年度豪雨災害によって被災した箇所の樹木を伐採整備することで、景観保全及び防災としての効果を期待した。

今後の展開

・他地区でも里山林整備事業を活用できる箇所を見つけるために、広報を活用しながら、周知を進めていく。

取組の内容

- ・事業主体：大崎上島町
- ・実施場所：大崎上島町小原
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.59ha
- ・業務金額：1518千円
- ・業務期間：令和元年12月6日
～令和2年3月23日

取組後の感想

【良かった点】

・事業実施後は、森林が整備されたことで、景観が良くなり、災害によって倒木の恐れがあった箇所も整備されたことで、町民に安心していただけるようになった。

【悪かった点】

・葉が落ちきった時期に実施すればよかったかと思う。



植樹後の植栽木を管理する活動事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：大崎上島町

取組のきっかけ・経緯

・これまで森林・林業体験活動支援事業では植樹をメインに行ってきたが、大崎上島町の森づくり推進協議会で「植樹後の管理も大切なのではないか」という意見が出たことで植栽整備を行うこととなった。

今後の展開

・植栽整備活動を知ってもらえるように広報を活用しながら周知を進めていく。

取組の内容

- ・事業主体：大崎上島町
- ・実施場所：大崎上島町沖浦
- ・参加人数：13人
- ・業務金額：228千円
- ・業務期間：令和2年3月19日



取組後の感想

【良かった点】

- ・植栽整備活動を行うことで、植樹だけでなく、その後の管理も大切だということを参加者に考えていただくきっかけになった。
- ・植栽整備箇所の景観が良くなり、植物の育ちやすい環境となった。

【悪かった点】

- ・想定していた剪定量よりも実際の剪定量が多く、予定時間よりも長く時間がかかってしまった。

